

絹小売業から見た絹需要の動向と展望

株式会社 ギョウダ 代表取締役 行田隆宣

今の社会は政治、経済の全般に亘り全く不透明な状態にあり、政府・日銀などは景気は底を打ち、やや上昇に転じていると発表しているが、消費者の購買意欲は必需品であっても先延ばしにする現況であります。現在、きもの業界が一番その苦しみを味わっている業界であろうと思われます。

このような状態にしてしまったのも単に景気問題に責任転嫁させるばかりではなく、業界全体の古い体質に対する反省をする良い機会であると考えます。

1. 製糸全盛時のきもの需要と現在との比較

客層の需要の変化

2. 絹規制の功罪

1) 国内生産品と輸入品の品質と価格

2) 商品価格に対するお客様の不信感

3. お客様を満足させるために

1) フォーマルー辺倒からの脱却

2) 絹を使った新製品への期待（ピューロンのきもの等）